



5月になり、外遊びにぴったりの季節となりました。運動会も終わり、1年生も学校生活に慣れ始めたのではないのでしょうか。また、2年生以上の子どもたちの本の貸し出しが始まってから1ヶ月が経ちました。子どもたちは、中間タイムや昼休みには、本を読むだけではなく、読みたい本を探しに来たり、「読書の足あと」のシールをはってもらいに来たりして、図書室も少しずつにぎやかになってきています。これからも上手に時間を使って、本をたくさん読んでほしいです。

1年生の貸し出しが始まりました。

5月16日(金曜日)、1年生の本の貸し出しが始まりました。この日は初めてなので、絵本を1人1冊だけ借りました。たくさんの絵本に迷いながらも、楽しそうに絵本を選んでくれました。本を借りる時には、学年、クラス、出席番号、名前を言って、本のバーコードを出して借ります。みんな緊張しながらも上手に本を借りることができました。



「読書の足あと」が始まりました。

今年も「読書の足あと」を行います。「読書の足あと」とは読んだ本の題名を書いて記録していくものです。「読書の足あと」の目標を達成するとりんごに名前を書いて「りんごの木」にはっていきます。

1年から3年生までは読んだ本の合計冊数でりんご(50冊以上で赤りんご、100冊以上で金りんご)をはります。

4年生から6年生は読んだ本の合計ページでりんご(1000ページで赤りんご、15000ページで銀りんご、2000ページで金りんご)をはります。



この「りんごの木」は昨年度の様子です。このように、たくさん読むと、りんごの枚数がどんどん増えます。昨年度は少し少なかったのですが、今年はたくさん増えてほしいです。



最近の図書室では、中間タイムや昼休みに「読書の足あと」を持ってきて、本を読みながら、書いている人が増えました。



お話 まちがい探し

『さるじぞう』

じぞう 地蔵さまとかんちがいしたサルたちの
うた 歌に、じいさまは笑ってしまいそうにな
りますが、ぐっとがまんします。

まい 2枚のイラストには、5つのまちがいが
あります。いくつ見つけれられるかな？



まちがい探しの答え

『さるじぞう』

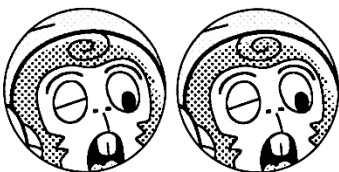


- ①うずまき ②もち ③サルの歯
④うで ⑤顔の向き

〈げきむずポイント〉

左

右



すべて答えられたかな？

日本・世界のお話カード

サルたちは歌いながら
じいさまを運びます

『さるじぞう』

にっぽん 日本のお話

昔、山でじいさまがしばかりをしていました。昼にきなこもちを食べ、顔がこならけのまま、昼寝を始めました。そこにサルたちが来て、じいさまを地蔵さまとかんちがい。川の向こうのお堂に、じいさまを運びます。すると、「さるのおしりはぬらしてもよい」

「ぞうのおしりはぬらすなよ」と歌い始めます。じいさまは、笑いをこらえるのに必死。お堂につくとサルたちがお金をそなえ、じいさまはそれをもらい、家へ帰りました。そのことを聞いたよくばりばあさまは、うちのじいさまにも同じことをさせようと山へ向かわせましたが、サルのお歌がおかしく、笑ってしまいます。地蔵さまでないと気がついたサルたちに、川へ落とされたじいさまは、泣いて帰りましたとさ。

※このお話は、講談社、こぐま社、あすなろ書房などから出ています。